



Bゼミ

2020/06/19 伊久

序章

前史

第Ⅰ部 コニーアイランドー空想の世界のテクノロジーー

第Ⅱ部 ユートピアの二重の生活ー摩天楼ー

第Ⅲ部 完璧さはどこまで完璧でありうるかーロックフェラー・センターの創造ー

第Ⅳ部 用心シロ！ダリトル・コルビュジエがニューヨークを征服する

第Ⅴ部 死シテノチ（ポストモルテム）

補遺 虚構としての結論

# 二人のニューヨーク征服[サルバドール・ダリ]

夢解釈の応用によってニューヨークを征服



独自の偏執症的批判方法をシュールレアリスムに活用した。

ダリの偏執的批判方法(以下2つの非連続な操作の連鎖)

①偏執症患者の人工的再現

②気体状の思考を圧縮し、事実とする

ダリの反モダンのマンハッタンの発見は  
言語上のものだったため征服は完璧であった。

# 二人のニューヨーク征服[ル・コルビュジエ]

ニューヨークの破壊を提案することによってニューヨークを征服



「美しき都市」を発明し建設しようとしたが、すでにその都市(マンハッタン)が存在していたため、ニューヨークの信憑性を打ち砕くことによって

自分の考える都市が存在していないことを証明

(アンチ摩天楼とアンチマンハッタンのデザイン、マンハッタンの中傷)

ル・コルビュジエの解決法：「輝ける都市」

グリッドをなくし、その代わりに高架道路網と芝生で占め、

セントラルパークは縮小しマンハッタンに分散され、摩天楼は撤去

(マンハッタンをアンチマンハッタんに置き換えた)



マンハッタンの生命線である過密を抜き取る

しかしハリソンによって、輝ける都市からイデオロギーを抜き取られ、

ル・コルビュジエの都市は呑み込まれた。

## 疑問点

- ル・コルビュジエがニューヨークの征服に失敗した要因とは。
- 摩天楼を中傷する際に、ル・コルビュジエは攻撃対象の認識欠如を慎重に守り抜いた(p. 415 ㊦11～)のはなぜか